

弥生 vs. 現代陶芸作家によるトークセッション

現代の創造を刺激する弥生の造形、その魅力



2018年5月26日[土]
13時30分～15時（開場は13時）

制作スタイルは異なりますが、古代の土器に心惹かれるという共通項をお持ちの三人の現代陶芸作家をお招きし、弥生土器の造形とその魅力について語り合い、現代の創造にどのように息づいているかを探ります。

- パネリスト： 加古勝己氏（兵庫県篠山市）
かのうたかお氏（京都府京都市）
谷穹氏（滋賀県甲賀市）
- コーディネーター： マルテル坂本牧子（兵庫陶芸美術館学芸員）
- 会場： 兵庫陶芸美術館 研修棟 1F セミナー室
- 聴講料： 無料（ただし観覧券の半券が必要）
要事前申込（定員 110 名・先着順）
※詳しくは裏面をごらんください。

【写真】（上から）

かのうたかお《壺中天アリ》2015年 撮影：河田憲政
加古勝己《灰赫陶》2016年 撮影：中西俊介
谷穹《信楽 甕》2017年 撮影：杉本賢正



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館

The Museum of Ceramic Art, Hyogo

弥生 vs. 現代陶芸作家によるトークセッション 現代の創造を刺激する弥生の造形、その魅力

5 / 26 (土) 13:30~15:00 (開場 13:00) 兵庫陶芸美術館研修棟 1F セミナー室
参加費無料 (観覧券の半券必要) / 要事前申込 (定員 110名・先着順)

加古勝己 Katsumi Kako



撮影：中西俊介

1965年 京都府に生まれる
1986年 嵯峨美術短期大学 (現・嵯峨美術大学短期大学部) 陶芸科卒業
1994年 京都工芸ビエンナーレ展優秀賞
1995年 現代工芸展近畿展賞
1997年 朝日陶芸展奨励賞、京都嵯峨大覚寺「花の陶展」
1986年 嵯峨美術短期大学 (現・嵯峨美術大学短期大学部) 大覚寺賞
2004年 茶の湯の造形展優秀賞 (田部美術館、島根) 2011年
1986年 嵯峨美術短期大学 (現・嵯峨美術大学短期大学部) にも奨励賞
2010年 現代茶陶展奨励賞 (セラトピア土岐、岐阜)
2011年 パラミタ陶芸大賞展 (パラミタミュージアム、三重)
現在、兵庫県篠山市にて制作

2007年頃より、粗い土肌に灰が掛かることで生まれる独特の肌合いと、ベンガラを入れた赤い模様による《灰赫陶》シリーズを発表。古代の土器が持つ質感や模様からインスパイアされながら、そこにモダンなフォルムを合わせることで、個性的な佇まいを見せけている。やきものの原初的な姿を見つめ、そこに自己を投影し、さらに立体としての力強さを求めて制作している。

かのうたかお Takao Kano



1974年 京都府に生まれる
1998年 京都精華大学美術学部造形学科陶芸コース卒業
青年海外協力隊隊員として西アフリカ・ニジェール共和国にて陶磁器指導 (2001年に帰国)
2008年 国際陶磁器展美濃銀賞 (多治見、岐阜)
2013年 天祭一〇ハグランプリ (増上寺、東京)
2014年 京焼歴代展一継承と展開 (京都市美術館)
現在、京都府京都市にて制作

シャモットと釉薬による造形を展開し、崩れやすい砂のイメージを強調した作品で注目を集める。2010年頃より、内と外の世界を意識した《壺中天アリ》シリーズを発表、古代の土器や中国の古陶磁などのフォルムを象ったユニークな造形へと向かった。2016年頃より、古墳時代の埴輪や直弧文などをテーマに取り入れ、土による大らかで力強いフォルムの上に、文様や化粧土を重ね合わせた新しい試みを行っている。

谷穹 Tani Q



撮影：中西俊介

1977年 滋賀県に生まれる
2000年 成安造形大学立体造形クラス卒業
彫刻家中ハシクシゲ氏のアシスタントを務める
2001年 北村寿三氏のもとでロクロ指導を受ける
2003年 清右衛門陶房に入る
2013年 個展「LAND eSCAPE」
(滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー)
2015年 個展「ローロー」
(京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA)
「これからの、未来の途—美術・工芸・デザインの新鋭 11人展」(京都工芸繊維大学美術工芸資料館)
現在、滋賀県甲賀市にて制作

中世・室町時代に作られた信楽焼の壺や甕などに優れた技術と高い美意識を見出し、当時の窯の構造や焼成方法などを研究しながら、その本質に迫る作陶を続けている。いわゆる「古信楽」の完璧な再現そのものが目的ではなく、制作行為を通じて問い直されるやきものの原点、そこに映し出される精神性、さらには、鑑賞者の想像を喚起する独自の展示方法により、「思考させるやきもの」を現代に現出させている。

参加費について

参加費無料。ただし、いずれも本展観覧券 (当日半券可) が必要です。

お申込みについて

講演会のご参加には、事前にお申込みが必要です。
(いずれも定員 110名)
チラシ下部の参加申込書をご記入のうえ、FAX が郵送でお送りください。
※お電話または当館ホームページからもお申込みいただけます。

兵庫陶芸美術館へのアクセス

[自動車の場合] ※無料駐車場がございます。

- ・舞鶴若狭自動車道・三田西 IC より約 15 分
または丹南篠山口 IC より約 20 分
- ・中国自動車道・滝野社 IC より国道 372 号を東へ約 30 分
- ・阪神方面より国道 176 号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約 15 分

[JR・バスの場合]

- ・JR 福知山線「相野駅」下車
(大阪駅から約 50 分)
駅前より神姫グリーンバス「兵庫陶芸美術館」、
「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き
約 15 分、「兵庫陶芸美術館」下車
※「相野駅」からのタクシーもご利用いただけます。



[お問合わせ]

兵庫陶芸美術館

〒669-2135 篠山市今田町上立杭 4
TEL 079-597-3965
FAX 079-597-3967
H P <http://www.mcart.jp>

参加申込書 | 弥生 vs. 現代陶芸作家によるトークセッション 現代の創造を刺激する弥生の造形、その魅力

ふりがな お名前	* 必須	申込人数	* 必須	ご住所 (市区町村まで)	* 必須	都道府県	市区町村
ご連絡先	* 必須 TEL — —	* FAX でお申込みの方は必須 FAX — —		E-MAIL			

【個人情報の取扱い】 本講演会の参加申込みに係る個人情報は、お客様への「当館からの連絡・お知らせ」のみに活用し、これらの目的以外には使用しません。